

講演会のご依頼について

当館は現在、講演会を以下の演題と内容にて行わせていただいております。

お申し込み・お問い合わせ・ご相談は、お気軽に担当・大沢慶尋^{おおさわよしひろ}(主任学芸員)へ電子メール
「yoshihsawa@yahoo.co.jp」にて

またはお電話・青葉城資料展示館「022-227-7077」にてお願いいたします。

《演題・講師および内容》

① 伊達政宗公の仙台城 講師：館長田中於菟彦^{おとひこ}、または大沢慶尋

伊達政宗公の思想と理想が宿る仙台城。当館制作の仙台城の高精細 CG映像・画像と、現地史跡の写真画像、江戸時代の絵図・建物の姿絵図などの史料の画像を用い、最新の発掘調査成果をあわせて、仙台城の構造と独創性から仙台城に込めた政宗公の思想と理想を浮き彫りにします。ご要望次第で、加えて仙台城址の東日本大震災の被害についても言及いたします。

近年の開催

仙台市個人タクシー協会（2010年8月）

県内陸上自衛隊駐屯地（2012年10月）

NHK文化センター仙台教室（2014年2月）

英語通訳グループGOZAIN（仙台国際センター2014年2月）

国宝大崎八幡宮ボランティアガイド会（2014年11月21日）

仙台市生涯学習支援センター（主催:東口ガイドボランティア宮城野さんぼみち2015年3月12日）

仙台市榴ヶ岡市民センター（主催：榴ヶ岡老壮大学2015年7月16日）

太白区中央市民センター（主催：仙台明治青年大学51期2015年11月25日）

② 南奥の覇者「伊達政宗公」 講師：館長田中於菟彦^{おとひこ}、または大沢慶尋

南奥の覇者・伊達政宗公の一生を、450年前の米沢での生誕から戦国期、そして仙台城築城、慶長遣欧使節派遣、晩年に至るまで、現存する実物史料・建造物、また史跡などの画像をご覧ください概観し、その波乱に満ちた多彩で濃密な一生に迫ります。

近年の開催

NHK文化センター仙台教室（2014年3月）

全国BMC・東北BMC合同新春の集い（2015年2月）

奥州市水沢南地区センター（主催：シルバー南大学2016年10月13日）

明治青年大学54期生同期会（青葉城本丸会館2017年2月17日）

仙台個人タクシー事業協同組合（2017年6月6日）

たかはた伊達の会（山形県高島町 2017年6月23日）

仙台太白倫理法人会（仙台市茂庭荘 2017年7月4日）

東北・北海道計量大会（主催:東北六県北海道計量協会連合会 仙台市秋保・伝承千年の宿佐勘 2017年10月5日）

最上義光歴史館歴史講座「義光塾」（2017年11月11日）

③ 南奥の覇者伊達政宗公とそれを支えた家臣たち 講師：大沢慶尋

戦国大名から近世大名へと自らを変化させ、激変する時代を乗り切った伊達政宗公。このレースを完走しきった大名は少ない。政宗公は、実に周囲の「人」に恵まれていた。片倉景綱、伊達成実、茂庭綱元、虎哉宗乙禅師、愛姫はじめ実に多くの忠臣・家族の支えがあってこそ、このレースを完走することができた。そして、彼らが政宗公を支えようとしたのは、政宗公自身に彼らの心をとらえて離さない大きな魅力があったからこそであった。

近年の開催

仙台市榴ヶ岡市民センター（主催：榴ヶ岡老壮大学2016年8月18日）

④ 慶長遣欧使節－支倉常長苦難の旅－ 講師：大沢慶尋

奥州王・伊達政宗公の命による7年にわたる支倉常長一行の苦難の旅の。2013年、そのはじまりから400年を迎えます。使節行実現までの経緯は？ 2008年と2012年、そして2014年3月と三度にわたる当館による海外関係史跡探訪取材をもとに、様々な書簡と、メキシコ、スペイン、イタリアにおける使節の足跡を追体験する史跡探訪世界旅行に皆様をご案内いたします。そして、一行中でメキシコ、スペインに残留・永住した日本人の存在についての近年の研究成果にも言及します。

近年の開催

中日新聞社（名古屋 2010年7月）

柏木市民センター（仙台市 2012年11月）

小野市民センター（東松島市 2013年3月）

成田公民館（富谷町 2013年5月）

カトリック藤が丘教会（2013年6月）

フジタ道路株式会社東北支店（2013年6月）

英語通訳グループGOZAIN（仙台国際センター 2013年7月）

桂市民センター（仙台市泉区 2013年7月）

たかはた伊達の会（山形県高畠町 2013年7月）

仙台市中央市民センター（宮城野区 2013年9月）

仙台個人タクシー事業協同組合（2013年10月）

住み太e～ねっと（2013年10月）

NPO 法人 仙台城ガイドボランティア会（仙台市民会館 2013年11月）

NHK文化センター仙台教室（2014年2月）

仙台江戸学講座（大崎八幡宮 2014年3月）

みやぎ県民大学（大郷会場 2014年9月3日、9月24日）

大籠キリシタン資料館・大籠キリシタン史跡地域おこしの会（岩手県・藤沢 公民館 2014年11月29日）

後藤寿庵顕彰会（奥州市水沢南地区センター 2015年5月9日）

語り部養成講座（宮城県庁 2015年11月6日・20日、12月4日）

小山地区振興会成人講座（奥州市胆沢区小山地区センター 2018年1月13日）

⑤ 天正二年^{もがみ}最上の乱－伊達氏、最上氏とその周辺国衆－ 講師：大沢慶尋

2001年当館発見・公開の栄林(最上義守)書状4通をはじめ、伊達輝宗日記、また最上氏をとりまく周辺大名・国衆の書状などをもとに、天正二年(1574)の最上の乱の実態を明らかにしていきます。「義守(父)から義光(子)への家督相続はいつで、どのような実態だったのか？天正二年の乱はなぜおこったのか？果たして義光の弟といわれる中野義時は乱の当事者なのか？」などを解き明かします。

追い詰める最上義守(父)と伊達輝宗！ 追い詰められる義光(子)！ 自らの野望に燃える天童！ 翻弄される寒河江。生存と安定をかけた高掬・蔵増、溝延・延沢。中人として苦悩する白鳥十郎！
そして、山形盆地に決戦の8月15日がおとずれる！！

近年の開催

上山城（2008年12月）

山形市郷土史研究協議会（2012年4月）

たかはた伊達の会（山形県高島町 2015年6月16日）

最上義光歴史館歴史講座「義光塾」（山形市・最上義光歴史館 全2回2015年12月5日・12日）

⑥ 伊達政宗の見た最上義光 講師：大沢慶尋

独眼竜伊達政宗は最上義光をどのように見ていたのか？ そしてその隻眼を通して写し出された像は、真実の義光の姿であったのであろうか？

伊達家家督相続当初から、政宗にとって義光とはどういう存在であったのか？

母保春院による毒殺未遂事件の真相は？ 義光は本当に裏で糸を引いていたのか？ 鮎貝宗信による謀反事件の真相は？ 義光は本当にこの一件に関わっていたのか？

政宗書状、および政宗周辺の同時代史料から、最上義光を警戒し、時に真実の義光の姿を歪曲し、敵視の傾向を深化させていった政宗の姿を浮かび上がらせたい！

そこには、単純に良い悪いでは片づけられない政宗・伊達家が戦国を生き抜くための策が確かにあったのである。

近年の開催

山形市東部公民館（2014年7月23日）

最上義光歴史館歴史講座「義光塾」（山形市・最上義光歴史館 全2回2014年12月13日・20日）

NPO 法人 シニアネット仙台「ぐるーぷ・よっこより」（仙台市戦災復興記念館 2017年1月16日）

⑦ 政宗公の育んだ伊達文化とは～その継承と広がり～ 講師：大沢慶尋

平成28年4月25日、文化庁が認定する「日本遺産」に宮城県（仙台市・塩竈市・多賀城市・松島町）が申請していた「政宗が育んだ“伊達”な文化」が認定された。そのこともあり、現在、伊達文化への関心が高まりをみせている。

この講演では、この日本遺産認定のストーリーに沿ったわかりやすい解説を試みるとともに、「文化とは、主として精神的活動から生み出されたもの」という真理を重んじ、講演者独自の伊達文化論を展開する。

講演の章立ては以下の通り。

- ① 日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」
- ② 伊達な精神文化「第一は神社、第二は寺院」
- ③ 政宗の仙台開府にともなう社寺の再興・造営～その意味するもの～
- ④ 政宗の仙台城築城と大崎八幡宮・瑞巖寺
- ⑤ 文化人「伊達政宗」
- ⑥ 以降の藩主による継承
- ⑦ 全国への広がり～藩によるみちのくの歌枕の整備・保護
- ⑧ 庶民への広がり

政宗公の育んだ伊達文化は、その精神とともに、なぜ色あせることなく藩政時代を通して継承され、広がりを見せていったのであろうか。その謎を実証的に解き明かす。

近年の開催

東北六県神道青年協議会禊錬成会(宮城県松島町・ホテル大観荘 2017年5月30日)

仙台市榴ヶ岡市民センター(主催:榴ヶ岡老壮大学 2017年7月20日)

⑧ 伊達政宗と鮎貝氏、そして気仙沼 講師：大沢慶尋

伊達政宗が、南奥の覇者への道を駆け上がる過程でおこったいわゆる「鮎貝宗信の謀反事件」とは何か。本当に定説どおり謀反事件であったのか？ この一件の真相を政宗自身が出した手紙を時間経過を追って観察し、また同時代史料のみをもとにおこるべくしておこった鮎貝氏の存在形態に基因する事件の構造を実証史学の方法論で明らかにする。

そして、その後、政宗が、長老の重臣である鮎貝日傾齋を軍師の1人として重んじ、また岩出山居城時代に留守居役の1人として大きな信頼をよせていた姿を描き出していく。

講演の章立ては以下の通り。

- ① 伊達政宗のおいたち
- ② 南奥の覇者への道
- ③ 天正 15 年鮎貝宗信の謀反事件とは何か
- ④ その後の政宗と鮎貝氏
- ⑤ 慶長遣欧使節と気仙沼

近年の開催

けせんぬま学講座(主催:気仙沼市文化遺産活用検討実行委員会 気仙沼市・煙雲館 2017年11月25日)

⑨ 日本の中の伊達政宗、世界の中の伊達政宗 講師：大沢慶尋

いまだ歴代大河ドラマでナンバーワンの視聴率を誇る独眼竜・伊達政宗。そして世界で日本の皇帝と称された豊臣秀吉、徳川家康。日本の中で政宗は彼らとどのようにかわり激動の戦国から近世へと生き残っていったのか？ 政宗は当時の日本、その後の日本にどのような影響を与えたのか？

秀吉の命による朝鮮出兵、そして支倉常長を使者としてのスペイン国王、ローマ教皇への遣欧使節の派遣。世界の中で政宗はどのように生きようとし何を目指したのか？

今年の大河の主人公・黒田官兵衛の長男福岡藩主・黒田長政とともに計画したといわれる徳川幕府討幕。その真相は？

「日本史の中の伊達政宗、世界史の中の伊達政宗」という視点から人間伊達政宗の実像に迫りたい！

第一回 伊達政宗と豊臣秀吉 ～そして朝鮮出兵へ 第二回 伊達政宗と徳川家康 ～内政を中心に 第三回 伊達政宗と徳川家康② ～スペイン外交編 ※各回 90分です。全三回の講座ですが、「伊達政宗と豊臣秀吉」のみの講演会、「伊達政宗と徳川家康～スペイン外交編」のみの講演会なども承ります。

近年の開催

NHK文化センター仙台教室 (2014年 4月～6月)

⑩ 学芸員大沢と行く青葉城資料展示館見学と青葉城址散策ツアー

ナビゲーター：大沢慶尋

伊達政宗公が天然の要害の地に築いた青葉城（仙台城）。織豊系城郭技術と伊達氏系城郭技術の融合する仙台城の特徴、そして築城に込めた伊達政宗の思想・理想を説き明かします！



非公開の本丸西の門付近も特別に入場ご案内します！大沢学芸員の案内で「青葉城資料展示館で青葉城の高精細CG映像、伊達政宗書状などを見学 ⇒ 本丸から三の丸、仙台大橋までの登場路を徒歩で散策（行きは本丸～本丸詰の門～中の門～大手門～大橋ルート。帰りは三の丸～巽門～清水門～沢の門～本丸詰の門ルート）」します。



尚、雨天でも決行いたします。

- (1) 集合場所 青葉城資料展示館（仙台市青葉区青葉城本丸跡）
- (2) 所要時間 3時間
- (3) 持ち物 歩きやすい服装（本丸と仙台大橋を往復します）、筆記用具
- (4) その他 資料は当日配布します

近年の開催

NHK文化センター仙台教室（2014年6月）

NPO法人 仙台城ガイドボランティア会（2014年9月17日・20日）

国宝大崎八幡宮ボランティアガイド会（2014年11月21日）

NPO法人 シニアネット仙台「ぐるーぶ・よっこより」（2015年6月15日）

政宗公の仙台城を知る講座・ツアー（当館主催 2015年11月30日）

《摘要》

- ・①～④の演題・内容は、主催団体さま、視聴者様のご要望を考慮したものに適応させることができます。
- ・パソコン、プロジェクター(映写機)、スクリーンを使用する形式の講演です。パソコンとプロジェクターは当館で持参することができます。スクリーンは主催団体様にご用意をお願いいたします。
- ・準備等の都合上、開催日の1ヶ月以上前にお申し込みをお願いいたします。
- ・講演時間は40分～120分までの間で、「要相談」とさせていただきます。
- ・講演料は、「要相談」とさせていただきます。
- ・当館の業務、行事をはじめとする都合によりお引き受けできかねる場合がありますので、ご了承・ご容赦をお願いいたします。
- ・講師のご指名のご希望は承りますが、業務、行事をはじめとする都合によりご指名をお約束できかねる場合がありますので、ご了承・ご容赦をお願いいたします。

《講演者プロフィール》

①田中 於菟彦

1944年仙台城本丸跡に生まれる。

仙台第二高等学校卒。東北学院大学経済学部経済学科卒。

國學院大學専攻科修了。

現在、宮城縣護國神社権宮司。

「歴史博物館青葉城資料展示館」館長（文部科学省登録博物館）。

青葉城本丸会館館長。

〔活動〕伊達政宗公、仙台城に関する教育普及・啓蒙活動をライフワークとしておこなっている。

②大沢 慶尋

1967年生。國學院大學史学科（日本中世史）卒。國學院大學専攻科修了。現在、「歴史博物館青葉城資料展示館」主任学芸員。NHK文化センター仙台教室講師（2014年）。調査・研究領域…戦国時代～江戸時代初期の伊達氏。仙台城。

〔主な著書〕「天正二年^{もがみ}最上の乱」の基礎的研究－新発見史料を含めた検討－
（『青葉城資料展示館研究報告 特別号』2002年2月）

〔編纂書〕伊達家家臣湯村家文書－近世・近代編－
（『青葉城資料展示館研究報告 1号』2006年7月）

〔主な論文〕「天正十五年鮎貝宗信謀叛事件～伊達政宗・最上義光不和発端説の検証」
（『研究資料集 第37号』山形郷土史研究協議会 2016年4月）